

被害拡大を防ぐのはいま



浜松市で
増殖中!!

WANTED

特定外来生物

「ヌートリア」

浜松市役所 環境政策課

☎053-453-6149

生息地を把握するため、目撃情報をお寄せください。

ヌートリア
を目撃したら
浜松市へ
連絡を!



市内での目撃情報



水辺に生息するヌートリア



夜間に餌をさがすヌートリア



WANTED

ヌートリアの特徴

- 頭胴長40～60cm、しっぽの長さ30～40cm。
- 全体的に茶色で前歯がオレンジ色。
- 夜行性ですが、昼もしばしば活動します。
- 水辺に生息し、土手や田畑の畔に巣穴を掘ります。
- 後ろ足にのみ水かきがあります。

西日本から徐々に生息地域が拡大し、浜松市でも増殖。1度に約5頭、年2～3回出産。

詳しくは裏面をご覧ください。

ヌートリアってどんな動物？

ヌートリアは南米原産の、大型のネズミの仲間です。**毛皮の採取**に利用するため明治時代に日本に持ち込まれました。西日本を中心に分布が広がっていましたが、近年浜松市内でも確認されるようになりました。水辺に近いところにある植物を旺盛に食べるため、**農業被害**や、希少な植物への影響が懸念されています。そのため「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき、**特定外来生物**に指定されています。



年に2~3回繁殖し、一回当たり5頭程度の子を産みます。まさに、ネズミ算式に増えていきます。**泳ぎが非常に得意**で、潜水も難なくこなします。水辺を好み、河川や水路、ため池の近くでよく見かけます。

特徴

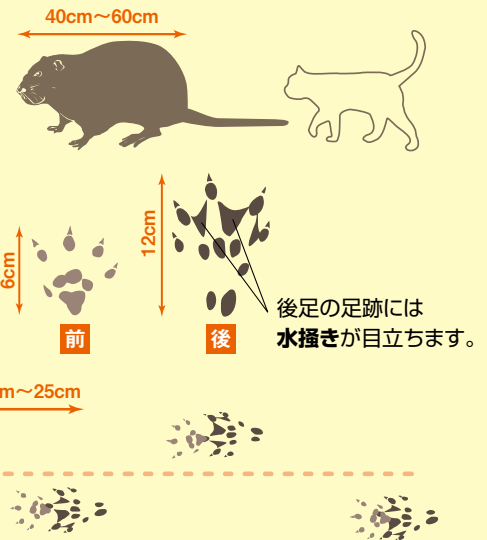
頭から尻尾の付け根までは**40~60cm**程度、尾の長さは30~40cm程度で、成長して大きくなった個体は**ネコより大きく**見えます。

口のまわりだけが白っぽい毛で覆われます。

全身が**茶色**です。

尻尾は細長く、毛が殆ど生えていません。

前歯(門歯)は大きくて、**オレンジ色**をしています。



ヌートリアによる被害例

基本的には草食で、水辺近くにある植物を食べます。川や水路沿いの田畑にもよく出没し、**農作物(イネ・レンコンなど)を食害**するため、問題となっています。**淡水産の貝類**や**希少な植物**への食害例も報告されており、生態系への影響が懸念されています。水辺近くにある**土手**や**田畑の畔**に、長く複雑な巣穴を掘って暮らします。このことが原因で、堤防や畔が壊される場合があります。



かじられたレンコン

特定外来生物とは



飼わない



動かさない



放さない

生態系や農林水産業、人の生命・身体へ被害を及ぼす又は及ぼすおそれがあると認められる外来生物として*外来生物法に基づき指定されたもので、飼育・栽培、生きたままの運搬、輸入、野外への放出、譲渡などが規制されています。市内では、アライグマやタイワンリス、ヌートリア、ソウシチョウなどの特定外来生物が確認されています。

*外来生物法…特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(平成17年6月1日施行)

見つけたら

浜松市では目撃情報を集めています。どこで見たか、どんな被害があったかをご連絡ください。咬まれたり、レプトスピラ症などの伝染病を媒介する可能性があるため、**触らないでください**。また、飼育、販売、捕獲、移動は禁止されています。捕まえないようにしてください。



触らないで
ください!